

### 3. 災害時の連絡・情報伝達の方法

#### 1) LINEメッセージ

被災により、ライフラインの供給停止などを理由に透析治療が出来ない場合など、患者さんへ連絡が必要な際は「LINE」を利用してお知らせします。また、患者さんの安否確認としても利用されますので、連絡を確認したら「確認しました。」を押してください。



#### 2) 災害伝言ダイヤル

災害伝言ダイヤルは、日本国内で大規模な災害が発生し、通信が増加し、つながり難くなった場合、電話を用いて音声による伝言板の役割を果たすシステムです。

##### (1) 災害伝言ダイヤルを体験してみましよう。

利用体験し、災害発生時すぐに利用できるよう備えましよう。

<体験利用日>

- ・毎月1および15日 0:00~24:00
- ・防災週間(8月30日 9:00~9月5日 17:00)

##### (2) 伝言(情報)を聞く方法

- ① 電話番号「171」を押します。
- ② 案内が流れます。
- ③ 「2」(再生)を押します。
- ④ 案内が流れます。

- ⑤ ふくどめクリニック電話番号「0985417700」を押します。
- ⑥ 少しして、ふくどめクリニックからの伝言が流れます。

<内容>

- ・ふくどめクリニックの被災状況
- ・当院で透析が出来るかどうか
- ・透析受け入れ病院の情報
- ・移動手段

といった情報が聞けます。

(3) 伝言(情報)を録音する方法

- ① 電話番号「171」を押します。
- ② 案内が流れます。
- ③ 「1」(録音)を押します。
- ④ 案内が流れます。
- ⑤ ご自宅の電話番号をダイヤルして下さい。
- ⑥ 30秒以内に伝言を入れて下さい。

<内容>

- ・ご本人およびご家族の安否、体調
- ・避難した場合の避難先の所在地、連絡先
- ・透析を行うにあたり、交通手段の相談等の情報を録音して下さい。

### 3) 宮崎県透析メール

#### 登録方法

- ① 次の登録用メールアドレスに空メール(件名・本文を入力せずに)メールを送る。

[touseki.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwork.jp](mailto:touseki.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwork.jp)

※または、右記のQRコードからでもOK

- ② メールが自動返信されて来ます。
- ③ 返信されたメールに記載されたアドレス(URL)へインターネット接続します。



④ 氏名と情報を取得したい地域を選択

(複数でも可)

内容を確認後、登録を行って下さい。

⑤ 登録完了メールが届けば完了です。

※災害用ですので、通常でのメール配信はありません。

<メール内容例1>

地震により〇〇クリニックが透析できなくなっています。患者さんの受け入れ先調整中です。〇〇クリニックの患者さんはクリニックと連絡をして下さい。

<メール内容例2>

□□病院の患者さんは△△公園に集合して下さい。

<メール内容例3>

宮崎市南部の透析施設には、被災がありませんでした。

各施設の患者さんは安否確認のため施設との連絡をとって下さい。

## 4) 人工透析患者連絡カード

人工透析患者連絡カードとは、必要な場所に必要な情報を届ける目的として作成され、患者さんへお渡ししています。

<カードの情報>

- 患者さんの透析に最低限必要な情報
- 患者さん、クリニックの連絡先
- 伝言ダイヤルの利用手順
- 宮崎市内の近隣施設情報 (住所、電話番号)

※被災のみならず、患者さんにトラブル等が発生したときに大変役に立つカードとなっています。常に携帯し、必要に応じてカードを提示してください。

## 5) スモールカルテ

スモールカルテとは、必要な場所に必要な情報を届ける目的としては、人工透析患者連絡カード（以下カード）と同じ役割ですが、特徴としてスマートフォン（以下スマホ）用のアプリケーションソフトとなっており、患者さん個人のスマホにご自身の情報を記録し携帯する仕組みです。また、カードよりも情報量が豊富な点が大きな特徴です。

### <スモールカルテの内容>

- 患者さんの透析に必要な情報
- 宮崎県の透析可能な病院一覧
- 宮崎県 腎臓病協議会のホームページが閲覧可能
- 現在地、病院の位置がマップで確認できる

※患者さんの情報以外にも、災害時に役立つ機能が備えられています。使い方など、詳細については当院のスタッフへお問い合わせ下さい。

●スモールカルテアプリのダウンロードはこちら

